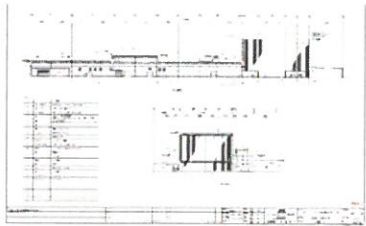
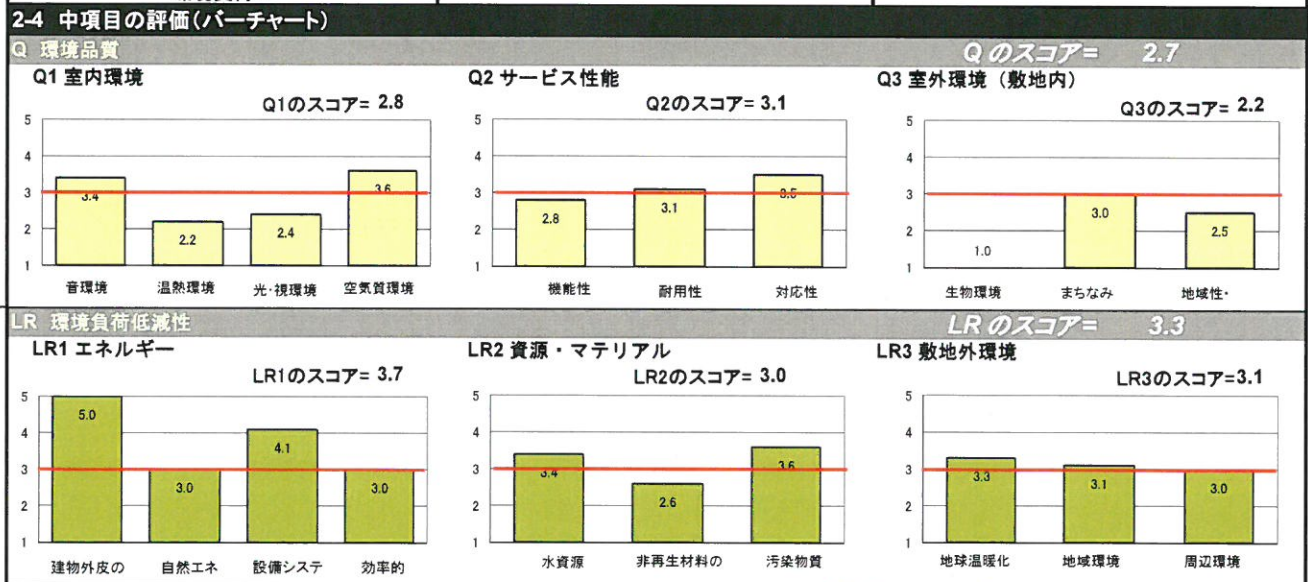
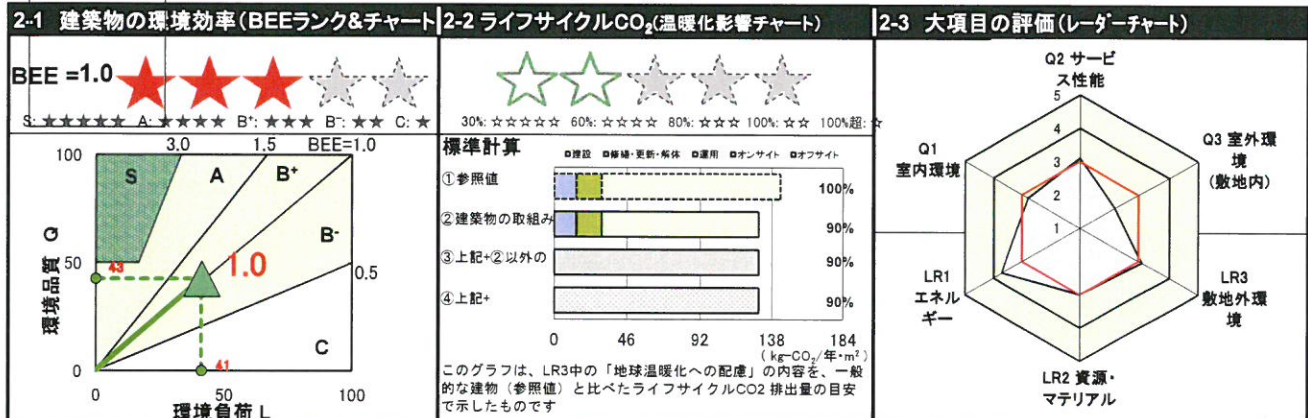


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	マルサンアイ鳥取株式会社 様	階数	地上2F		
建設地	鳥取市河原町西門通寺字畑ヶ中8	構造	S造		
用途地域	地域指定無し	平均居住人員	50 人		
地域区分	5地域	年間使用時間	6,720 時間/年		
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年5月11日		
敷地面積	26,862 m ²	作成者	キリンエンジニアリング株式会社 江原 道		
建築面積	7,394 m ²	確認日			
延床面積	8,550 m ²	確認者			



3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 省エネ性能の優れた建築設計と、高効率設備の採用、地域へ配慮で人にも環境にも優しい建物となっている		その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 工場内事務所ということもあり、吸音性が高い仕上げ材の採用し、屋内では化学汚染物質を抑えたり全面禁煙	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 天井に余裕を持ち、内装・設備に耐用性の優れた資材・機器を使用することで、良い状態を長く保つなど、	Q3 室外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内の緑地を設け、まちなみや景観と調和を図ること、地域に貢献するよう配慮を行っている
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 外皮、設備ともに省エネ性能に優れた設計を行っている	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 水資源保護の為節水器具を多く採用、また解体時に再利用できるユニット部材を採用することで非再生性資源の使用削減に貢献、さらに汚染物質を含む建材・資材の	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 交通負荷の軽減や、敷地外への風通しに・熱的な影響を低減する建物の形に考慮するなど居住者にも来街者にも優しい設計を行っている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される